

**都市環境委員会 阿佐ヶ谷再開発問題**  
公聴会求める陳情、閉会中継続審査に



●6月7日に都市環境委員会が開かれました。  
住民から都市計画道路補助132号線に関する陳情と阿佐ヶ谷再開発に関する公聴会開催を求める陳情が提出されていたにもかかわらず、川原口委員長の判断で審議すらされませんでした。3名の議員が抗議しました。  
川原口委員長は2つの陳情の審議について「上程したが審議はしない」「賛否両論があり委員が状況を把握してから審議する」の一点張り。私は「阿佐ヶ谷のけやき屋敷は8月に工事着工、西荻の計画も今年中に事業認可されようとしている。陳情を塩漬けにすることは許されない」と発言しました。2つの陳情は「閉会中継続審査」に。9月の第3回定例会までに委員会が開かれることとなります。全力でがんばります！  
●6月12日は災害対策・防犯等特別委員会でした。  
災害時の想定に福島原発事故の教訓は措置されておらず、「他国からの核攻撃よりも東海第2原発事故のほうがよっぽどリアルな問題では？」と質問。  
更に「自治体職員を削減して災害時に矛盾を背負うのは現場。合理化・人員削減に反対」と意見しました。



6月9日、上野水上音楽堂での集会で阿佐ヶ谷再開発反対住民と共に発言。

ほらぐち、マスコミにも登場！



カンニング竹山さんと。AbemaTVやラジオ日本に出演しました。

【スケジュール】

- ★ 7/20(土)18:30～改憲阻止・銀座デモ @ 新橋駅前・桜田公園より
- ★ 7/21(日)14:00～東京反核集会 @ セシオン杉並 福島の医師・渡辺瑞也さんを迎えて
- ★ 7/26(金)18:00～星野文昭さん追悼大集会 @ 杉並公会堂ホール
- ★ 8/1～2 区議会第二回臨時会(保育無償化関連)
- ★ 8/6(火)12:00～ヒロシマ大行動 @ 広島県立総合体育館小アリーナ
- ★ 8/12(月)13:00～阻もう！改憲発議8・15集会 @ 曳舟文化センター
- ★ 9/10～10/15 区議会第三回定例会(決算審議)

**ほらぐちともこ (洞口 朋子)** 杉並区議会議員/東京西部ユニオン特別執行委員  
会派: 都政を革新する会 都市環境委員会/災害対策・防犯等特別委員会  
(プロフィール)

1988年宮城県仙台市生まれ。2003年イラク戦争時、中学生で反戦デモに参加。2008年法政大学に入学。全学連として反戦運動や学生自治を復権させる活動を行い、2010年に無期停学処分。処分後も改憲・戦争・貧困に反対して奮闘。2019年4月杉並区議会議員選挙で3275票を獲得、18位で初当選。一般合同労働組合東京西部ユニオン特別執行委員として労働相談などの活動。YouTube「前進チャンネル」のキャスターとしても引き続き活躍中。



(荻窪事務所) 〒167-0032 杉並区天沼 2-3-7 さかいビル2A  
(阿佐ヶ谷事務所) 〒166-0015 杉並区成田東 5-39-11 ビジネスハイツ阿佐ヶ谷603  
TEL & FAX 03-3329-8813 (都政を革新する会)  
メール info@horaguchitomoko.jp ホームページ https://horaguchitomoko.jp

毎日発信！  
共につながり、  
社会を変えよう。



@HoraguchiTomoko

杉並区議会議員 洞口 朋子 都政を革新する会

ほらぐちともこ通信  
区議会レポート

2019年  
7月1日発行  
第1号  
(「ほらぐちともこ通信」  
通算9号)

5/31 杉並区議会本会議で初の一般質問

阿佐ヶ谷再開発を追及



5月31日、区議会(第2回定例会)で初質問を行いました。

初の議会(第2回定例会)が6月18日に閉会しました。私は2日目に一般質問に立ちました。当日は多くのみなさんの傍聴ありがとうございました。

とくに阿佐ヶ谷再開発について、地域住民の反対の声を封殺して進めようとする田中区長は絶対に許せません。西荻でも住民の声を無視して道路の拡張や駅前再開発が狙われています。これらの課題について今後も幅広く活動していきます。

力を合わせて杉並区政を変えましょう！

1、憲法9条改憲と戦争に反対！

ほらぐちともこ

田中区長は以前、安倍政権による改憲について、「憲法改正には広範な国民的議論と深い合意形成が求められる」「安倍首相は憲法審査会での議論を深めると述べているので、その動向を注視していく」と答弁しています。これはほぼ安倍首相の主張に沿うように考えられますが、区長の現在の政治姿勢をお答えください。

続いて「自衛権」についてですが、これまでのすべての戦争は「自衛」の名のもとに遂

行されてきました。「自衛戦争」の容認は侵略戦争への加担につながると考えますが、区長の考えを聞かせてください。

総務部長の答弁

憲法99条の憲法尊重擁護義務の立場によれば、行政権限を預かる区長においては、改憲論議には慎重であるべきとの考えに変わりがない。自衛の措置は、主権国家として平和と安全を維持し、その存立を全うするために必要な限りにおいて認められている。

2、住民無視の阿佐ヶ谷駅前再開発は撤回を

ほらぐちともこ

5月24日「阿佐ヶ谷駅北東地区地区計画

(素案)」説明会で、発言した十数人の区民の全員がこの計画に反対の意見を述べました。

(次ページへ)



## 阿佐ヶ谷再開発で「区が大規模商業施設を見込んでいることは明らかです！」

いまだに多くの阿佐ヶ谷住民が今回の計画を知らず、説明会でも「住民投票をやるべき問題だ」「立ち退きを余儀なくされる住民のことをどう考えているのか」などの怒りの声が上がりました。

にもかかわらず、3月に出された「まちづくり計画」はすでに決定事項として打ち出されています。このような住民無視の見切り発車は絶対に認められません。公聴会さえ開かず、区民の生活と命にかかわる大規模事業を進めることは許されません。そもそもこの「まちづくり計画」は一体どこで議論され、誰の責任で決定したのでしょうか。

### ●病院跡地の土壌汚染の可能性は重大問題

次に、「土壌汚染対策」について。なぜ土壌汚染の可能性のある河北病院跡地に小学校を移転させなければいけないのでしょうか。

また、子どもたちの校庭に使う用地の汚染物質を全面的に除去させる「除去措置」をなぜ基本協定書に規定しなかったのでしょうか。これは極めて重大な問題です。このままでは土壌汚染が確実に除去されるのか不安だと思いますが、区はどのような考えですか。

### ●「まだ何も決まっていない」は嘘

杉一小学校の跡地利用に関しては、区長は「まだ何も決まっていない」と強弁していますが、地区計画を見るだけでも大規模商業施設を見込んでいることは明らかです。

また「まちづくり計画」では「鉄道業者等と連携し」とありますが、JR東日本がどういう形で関わっているのか、区民にはまったく知らされていません。JR東日本との協議について明らかにすることを求めます。



### まちづくり担当部長の答弁

「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画」は、区域内はもとより区域外からも頂いた意見を踏まえ、必要な修正を行なったうえ、庁内の所定の意思決定を行ない、区として策定した。「鉄道事業者との協議」とは、具体的な事業を想定したものではない。現時点でJRとの協議は行っていない。

### 施設再編・整備担当部長の答弁

土壌汚染があった場合には確実に除去される。対策実施後さらに汚染などが生じた場合、今後締結される事業の施工に関する協定に、瑕疵担保責任等について盛り込む。

杉一小移転は2029年度（令和11年度）以降であり、具体的な整備計画は現段階においては未定。「にぎわいの創出」に資する施設の整備を検討する。



区議会初質問を終えた足で、阿佐ヶ谷地域センターでの集会に参加し報告しました。この集会で再開に反対する杉並住民団体の結成が宣言されました。団結して反対すれば、阿佐ヶ谷再開発は止められます！

## 3. 保育の民営化をやめ、公立保育所増設を

### ほらぐちともこ

保育の民営化はただちにストップし、自治体の責任で直営保育所の着実な整備が必要だと考えます。また保育無償化措置ですが、これまで低所得層では免除されてきた「給食費」「遠足費」などが今回の無償化から除外されています。このようなことのないよう区として措置すべきだと思います。

「待機児童ゼロ」のかけ声のもと、民営の保育所ばかりが急増していますが、その保育施設での園庭整備状況は直営の保育所と比較して格差が生じている事実はありませんか。「待機児童ゼロ」政策が、園庭も未整備な認可施設の急増をもたらしていると考えますが、杉並区としての見解を示してください。

### 子ども家庭担当部長の答弁

無償化に関する区の対応については、現在

検討を進めている。

園庭保有率は、区立保育所は100%、私立認可保育所は68%。この5年間では68%～75%で推移しており、園庭のない施設が急増したという状況にはない。

### ほらぐち's VOICE



初の議会を通して実感したことは、「区政は杉並だけの問題ではない」ということです。様々なテーマが議論されましたが、田中区長は「国の方針にのっとり進める」という答弁を繰り返しました。

改憲、沖縄新基地建設、福島切り捨てるオリンピック、非正規雇用の拡大と貧困、医療・福祉の民営化、年金受給年齢引き上げ、消費増税…。あらゆる問題が安倍政権のもとで進められています。だからこそ、安倍政権への明確な態度をハッキリさせることが重要だと実感しました。

## 4. 星野文昭さんの再審を区として支援すべき

### ほらぐちともこ

最後に星野文昭さんの再審闘争についてです。星野さんは昨夜、収容先の医療センターで亡くなりました。一貫して無実を訴え、再審を求めて闘い続けていましたが、徳島刑務所は家族・弁護団が医療検査を強く求めても実施しませんでした。本年3月4日にやっと腹部エコー検査が行われましたが、徳島刑務所はその結果を告げずに隠し放置したのです。法務省、徳島刑務所、四国地方更生保護委員会の命を軽んじる非人間的な対応に強い怒りを禁じえません。

星野さんのお連れ合いの暁子さんは杉並区在住です。再審無罪を訴え闘う区民への支援を区として行うべきと考えます。区役所2階ギャラリーで星野文昭さんが獄中で描いた絵を展示し、多くの区

民に星野さんの存在と闘いを知ってほしいと思います。これについて見解を求めます。

### 総務部長の答弁

星野受刑者の活動について区は知らず、行政として関与することは適切でない。



前進チャンネル第193回「星野文昭さんの遺志、引き継ぎ闘う」(2019/6/3) ほらぐちともこの初議会質問の動画も収録している回です。

YouTube動画  
「前進チャンネル」